

冷却型高感度中赤外線カメラ HMIR1280SM

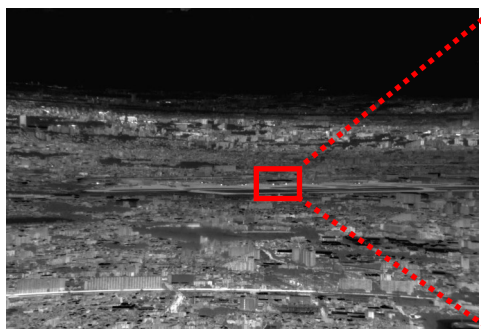
冷却型T2SLセンサを搭載した高感度中赤外線エリアカメラです。従来機に比べて、フレームレートが最大60fpsとなり、サイズもコンパクトになりました。ズームレンズとの組み合わせで夜間遠方監視に最適です。1インチサイズのフィルタ内蔵も可能です。

<特徴>

- 有効画素数：1280×1024ピクセル
- 素子ピッチ：10μm
- 感度波長域：3.7～5μm
- 最大フレームレート：60fps

<用途>

- 樹脂材料識別
- ガス検知
- 高精度温度計測
- 夜間高解像度監視



大阪国際空港 f=35mm時



同左 f=690mm時

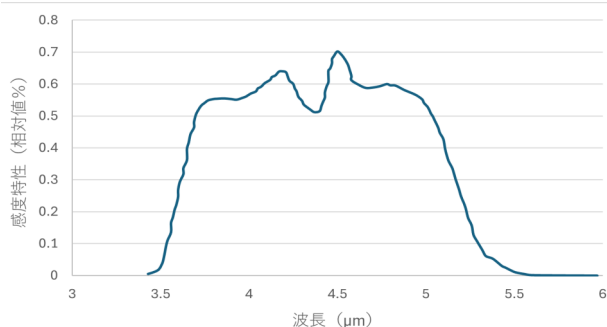


カメラ外観

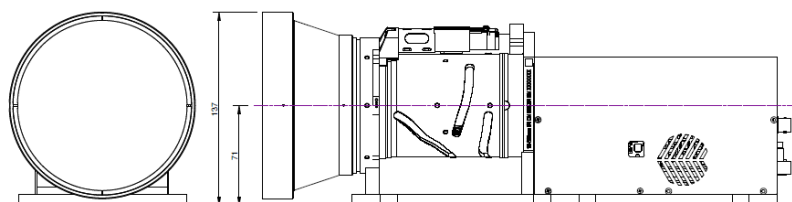
カメラ仕様

項目	仕様
センサ	T2SLアレイセンサ（量子型 コールドシールド：F/4）
エリア有効画素数	1280×1024ピクセル
ピクセルピッチ	10μm/pixel（受光面サイズ：12.8mm×10.24mm）
感度波長帯域	3.7～5μm
フレームレート・AD分解能	60フレーム/秒・14bit
センサNETD	25mK以下
冷却システム	スターリングクーラー：T2SL K508N MTTF>28000時間 注1
画像出力インターフェース	3G-SDI・GigE Vision・カメラリンク出力のいずれか
制御用インターフェース	シリアル通信、または Pleora社eBusSDK経由の仮想シリアルコマンド制御
電源	電圧：DC 24V
使用温度	-20～+60℃（結露なきこと）
寸法	W119mm × H137mm × D368mm（レンズ含む設計値）

注1）MTTFは平均故障時間であり、動作寿命を保証するものではありません。弊社では定期的にクーラーの交換を推奨しております。



感度波長特性



カメラ外観図